

参加無料
言語：日本語



国際学セミナー

災害時の外国人住民への対応 — 多文化共生の視点から

2020年の外国人住民の人口は286万6715人で、日本の総人口の2.25%にあたります(総務省データ)。私が住む熊本県でも、留学生、労働者、その家族も含めた外国人の人口は年々増えています。国籍・文化・言語が異なる人々が共存できる多文化社会を作り、持続していくことが重要になっています。セミナーでは、2016年熊本地震の時の私の経験を含めて、地震、水害などの自然災害やコロナ禍などの非常時の支援や医療体制をテーマに、多文化共生の現状と課題について話します。

講師

デブコタ・ハリ Hari Prasad DEVKOTA
(熊本大学 大学教育統括管理運営機構・特任助教)



ネパール出身。
ポカラ大学薬学部卒業後、2008年に熊本大学大学院入学。
2013年に熊本大学大学院薬学教育部博士後期課程修了。

日時

2021年7月6日(火)午後1時15分
～午後2時45分

場所

対面：人間社会第2講義棟201号講義室 (要事前登録)
オンライン：Zoomでの同時配信 (事前登録・オンライン希望者が対象)

共催：人間社会学域国際学類、国際基幹教育院
[お問い合わせ] 国際基幹教育院 佐々木 葉月
E-mail : sa hazuki@staff.kanazawa-u.ac.jp

コロナ対応のため、
事前登録をお願いします！

